

あ げ お 議会 だより

あなたにほんきをあげるまち



上尾市

主な内容

審議された主な議案	2ページ
委員会審査、討論	2～4ページ
提出議案・請願とその結果	4～5ページ
令和3年度予算審査	6ページ
市政に対する一般質問	7～15ページ
委員会活動	16ページ

新型コロナウイルスワクチン接種開始へ

表紙は3月28日(日)に行われたワクチン集団接種会場運営模擬訓練の様子です。市では市民が安心してワクチンを接種できるように準備を進めています。

ワクチン接種に関する最新の情報は、市ホームページなどでご確認ください。

第198号
令和3年(2021)
5月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町 3-1-1
電話 048-775-9467

Pick Up
**令和3年3月定例会
 審議された主な議案**

3月定例会で審議された議案は、市長提出議案52件、委員会提出議案1件、議員提出議案4件の計57件で、このうち53件を原案のとおり可決・同意し、1件を修正可決し、2件を否決し、1件を継続審査としました。

議案第8号 令和3年度上尾市一般会計予算

当初予算を減額修正

■修正内容

▶上平地区複合施設基本設計委託料
 2507万5000円を減額

令和3年度一般会計予算は、予算特別委員会において修正案が提出され、可決されました。その後、本会議においても修正案が可決されました。

また、3月23日の本会議において「上平地区複合施設に配置される各機能を再度見直すことを求める決議」が提出され、全会一致で可決されました。

【決議の概要】

市長の諮問機関である「上平地区複合施設検討委員会」における答申がなされたものの、付帯意見が付されており、十分な検討がなされたとは言えない。また、「コロナ禍の臨時財政運営方針」下である現状において、事業実施の必然性について詳細な根拠が示されていない。よりよい施設にするため下記の措置を講ずるよう求める。

- 1 施設に配置される各機能を再度見直すこと。
- 2 見直した内容を議会に提示すること。
- 3 コロナ禍における社会情勢や財政状況を考慮し慎重に進めること。

※予算特別委員会の審査概要および修正案などに対する本会議での討論の内容については、6ページをご覧ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で出された主な質疑についてお知らせします。

健康福祉常任委員会

条例
しらこぼと保育所と西上尾第一保育所を廃止

＜メモ＞ 耐震診断の結果を踏まえ、両保育所を廃止し、上平保育所の利用定員を増やすもの。

委員 両保育所の取り壊し時期と跡地利用は。

答 両保育所とも、令和4年度以降に解体予定である。跡地利用については、しらこぼと保育所は県、西上尾第二保育所はUR都市機構が土地を所有しており、それぞれ協議した上で、更地にして返還する予定である。

都市整備消防常任委員会

補正予算
消防職員の訓練講習費用の減額

＜メモ＞ 新型コロナウイルス感染症

症拡大に伴い、埼玉県消防学校での初任教育などが一部中止となったために生じた負担金の残額について減額補正を行うもの。

委員 職員訓練講習事業が中止になったことで、影響はあるか。

答 初任教育に関し5名、救急科4名、指導救命士1名が受講できず、講習は年度単位のため、次年度には新しい職員が入ることから、多少の影響は生じると考える。
委員 初任教育などを受講できなかった職員へのフォローは。

答 受講の人数は、消防学校による配分があるため、所属内で訓練や研修などを実施し、補っていく。

文教経済常任委員会

条例
上尾市立平方幼稚園の廃止

＜メモ＞ 上尾市立平方幼稚園の園児数の減少および幼稚園を取り巻く状況を総合的に勘案し、同幼稚園を廃止するもの。

委員 地元への説明会の経緯および障害を持つ子どもへの指導の継承をどのように考えているか。

答 事前に地元への説明会をする予定であったが、緊急事態宣言で延期となったため、今後丁寧に説

明していく。幼児教育推進協議会の中で、平方幼稚園で培ってきたノウハウを含めて協議し、充実化を図ることもできると考えている。

【継続審査の動議】

委員から、さきの議会で否決となった幼児教育の今後の展望が明確になっていないことおよび地域への説明責任が果たされているといえないことから、継続審査の動議が出され可決しました。

上尾市幼児教育推進協議会条例の制定について（議案第16号）は、協議会の内容の公開、市の幼児教育や特別支援教育に造詣の深い方や保護者からの委員選定を求める附帯決議が付されました。

総務常任委員会

請願
上尾市コミュニティセンター改修後の、新「多目的室1」（旧子供室）の貸し出しに関する請願

へメモ、改修工事前にあった「旧子供室」が担っていた、子どもと子育てする人を応援する機能を、引き続き求めるもの。

委員 コロナ禍での改修後のキッズスペースの運用方法は、
答 現状では、長時間の滞在はご

遠慮いただく運用を考えている。

【継続審査の動議】

委員から新型コロナウイルス感染症の影響など環境の変化を踏まえた子育て世代の活動を支援する施設のあり方について改めて調査することが必要のため、継続審査の動議が出され成立しました。

討論

令和3年度上尾市国民健康保険特別会計予算

反対▼共産党 保養施設の宿泊費補助の削減と多人数世帯への保険料軽減の廃止に反対する。

反対▼無党派（秋山） 世代間の不公平を理由にした宿泊費の削減は反対である。

令和3年度上尾市介護保険特別会計予算／上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対▼共産党 介護保険の利用料は当初から負担割合が増加し、補足給付も預貯金が一定額を超える

と対象から除外されるなど負担が増え、いざというときに使えない仕組みとなる懸念される。

上尾市幼児教育推進協議会条例の制定について
賛成▼公明党 幼児教育に対する

市民の声を教育委員会がしっかりと受け止めた結果と捉えている。

反対▼無党派（秋山） 幼児教育の実践と研究を繰り返してきた成果を検証後、条例制定すべきである。

上尾市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成▼無党派（津田） 従前の自動失職の規定は、業務に精励している職員に、過酷であると考ええる。

反対▼無党派（秋山） 職員の力の引き出し方は上司の力量によるため、降給という方法に反対する。

新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための関係条例の整備に関する条例の制定について

賛成▼無党派（津田） 市長や管理職以上の職員などの給与を減額し、身を切る覚悟に敬意を表す。

市長の給料及び教育委員会教育長の給料の減額支給に関する条例の制定について

賛成▼無党派（津田） 減額案は、市長が管理監督責任の取り方を先進的に示していると考ええる。

反対▼無党派（秋山） ブロック塀の問題は、全て決着がついたと思わないため、反対する。

上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定についての継続

3月定例会の動き

2月19日

本会議 開会、市長提出議案の上程および説明、議案第53号の質疑、討論、採決

2月25日

本会議 提出議案に対する質疑、予算特別委員会の設置、委員会付託
委員会 予算特別委員会

2月26日、3月1日～3日

委員会 予算特別委員会

3月5日

委員会 総務・都市整備消防常任委員会

3月8日

委員会 文教経済・健康福祉常任委員会

3月9日

委員会 予算特別委員会

3月11日

本会議 一般質問、議案第54号の上程および説明

3月12日、16・17日

本会議 一般質問

3月18日

本会議 一般質問、議案第54号に対する質疑

3月23日

本会議 委員長報告、討論、採決、議員提出議案および委員会提出議案の上程、採決、閉会

審査の申出

賛成▼政策・市民の声 市民に対し、説明責任を果たしていると言えず、継続審査が妥当である。

反対▼無会派（津田） 平方幼稚園の経費は受益と負担の均衡が崩れ、先延ばしの弊害が懸念される。

上尾市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について

反対▼共産党 私立での受け入れ困難な児童を受け入れる役割の公立保育所の廃止に反対する。

反対▼無会派（秋山） 待機児童の解消と子育て世代を呼び込むため、資源を有効利用すべきである。

上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対▼無会派（秋山） コロナ禍の非常事態では、値上げを抑制する手段の検討などが必要である。

上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対▼無会派（秋山） 建築制限がかかる、価値が下がる可能性があり、話し合いが必要である。

政治倫理審査委員の委嘱について（議案第48〜52号）

賛成▼政策・市民の声 委嘱に当たっては中立性を阻害すべきではないが、審査会が開始当初からつ

まづくことは望ましくない。

工事請負契約の締結について

賛成▼政策・市民の声 西貝塚環境センターの火災発生時の熱源感知器の設置などの対策は評価する。
学習支援事業に週2回以上の参加を可能とする請願

賛成▼共産党 経済的困難を抱える家庭の子ども一人一人に合わせた丁寧な学習支援に賛成する。

上尾市独自の学力テストの廃止を求める請願

賛成▼共産党 学力テストの実施は、子どもたちの発育、教育にとってマイナスであると考える。

上尾市コミュニティセンター改修後の、新「多目的室1」（旧子供室）の貸し出しに関する請願の継続審査の申出

賛成▼政策・市民の声 議会として、子育て活動を支援する施設のあり方の調査が必要と考える。

令和3年第1回臨時会

2月8日、第1回臨時会が開催され、次の議案2件を可決・承認しました。

令和2年度上尾市一般会計補正予算（第12号） / 新型コロナウイルスワクチンの接種を受けるために必要となる接種費用の計上ならびに火

災により焼損した西貝塚環境センター粗大ごみ処理施設における建築・設備の復旧工事および消火対策工事を実施。

専決処分の承認を求めることについて / 新型コロナウイルスワクチンの接種に必要な体制を事前に整備するための費用を計上。

討論

令和2年度上尾市一般会計補正予算（第12号） / 専決処分の承認を求めることについて

賛成▼政策・市民の声 事業の必要性は理解する。接種の対象者など重要事項の報告を求める。

専決処分の承認を求めることについて

賛成▼無会派（秋山） 市民が安心できる接種体制を整え、医師会と協議し、事業を進めてほしい。

採択された請願

令和3年3月定例会において、次の請願が採択されました。
学習支援事業に週2回以上の参加を可能とする請願
請願者 / 特定非営利活動法人なごみ
代表理事 神田和彦氏

令和3年第1回臨時会および令和3年3月定例会提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



● 第1回臨時会
◎ 市長提出議案（2件）※2件とも、全会一致で可決されました。

議案第1号 令和2年度上尾市一般会計補正予算（第12号）
議案第2号 専決処分の承認を求めることについて

● 3月定例会
◎ 市長提出議案（52件）

議案第3号 令和2年度上尾市一般会計補正予算（第13号）
議案第4号 令和2年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第5号 令和2年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第4号）

議案第6号 令和2年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第7号 令和2年度上尾市水道事業会計補正予算（第3号）
議案第8号 令和3年度上尾市一般会計予算 ※原案に対する修正案あり
議案第9号 令和3年度上尾市国民健康保険特別会計予算
議案第10号 令和3年度上尾市介護保険特別会計予算
議案第11号 令和3年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算
議案第12号 令和3年度上尾市水道事業会計予算
議案第13号 令和3年度上尾市公共下水道事業会計予算
議案第14号 上尾市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案第15号 上尾市公の施設の指定管理者候補者選定委員会条例の制定について
- 議案第16号 上尾市幼児教育推進協議会条例の制定について
- 議案第17号 上尾市就学支援委員会条例の制定について
- 議案第18号 上尾の摘田・畑作用具保存活用検討委員会条例の制定について
- 議案第19号 上尾市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 上尾市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第21号 上尾市職員の服務の宣誓に関する条例及び学校職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第22号 上尾市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第23号 新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第24号 市長の給料及び教育委員会教育長の給料の減額支給に関する条例の制定について
- 議案第25号 上尾市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第26号 上尾市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第27号 上尾市建築基準法等関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第28号 上尾市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料徴収条例及び上尾市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第29号 上尾市国民健康保険出産費資金貸付事業条例を廃止する条例の制定について
- 議案第30号 上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第31号 上尾市一般廃棄物処理施設建設基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第32号 上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第33号 上尾市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第34号 上尾市要介護高齢者手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第35号 上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第36号 上尾市介護予防・生活支援サービス事業手数料条例を廃止する条例の制定について

- 議案第37号 上尾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第38号 上尾市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第39号 上尾市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第40号 上尾市が管理する市道の構造等の基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第41号 上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第42号 第6次上尾市総合計画基本構想を定めることについて
- 議案第43号 市道路線の認定について
- 議案第44号 市道路線の廃止について
- 議案第45号 市道路線の認定について
- 議案第46号 公平委員会委員の選任について
- 議案第47号 教育委員会委員の任命について
- 議案第48号 政治倫理審査会委員の委嘱について
- 議案第49号 政治倫理審査会委員の委嘱について
- 議案第50号 政治倫理審査会委員の委嘱について
- 議案第51号 政治倫理審査会委員の委嘱について
- 議案第52号 政治倫理審査会委員の委嘱について
- 議案第53号 工事請負契約の締結について
- 議案第54号 訴えの提起について

◎委員会提出議案(1件)

委第1号議案 上尾市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

◎議員提出議案(4件)

- 議第1号議案 75歳以上の医療費窓口2割負担に反対する意見書
- 議第2号議案 生活保護申請における扶養照会の見直しを求める意見書
- 議第3号議案 適正な指名業者の選定を求める決議
- 議第4号議案 上平地区複合施設に配置される各機能を再度見直すことを求める決議

◎請願(3件)

- 請願第6号 学習支援事業に週2回以上の参加を可能とする請願
- 請願第7号 「上尾市独自の学カテスト」の廃止を求める請願
- 請願第8号 上尾市コミュニティセンター改修後の新「多目的室1」(旧子供室)の貸し出しに関する請願

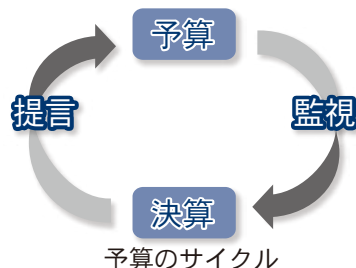
※ 一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決。
 ※ ○=賛成 ×=反対 □=退席 ※議長は採決に加わりません。
 (注) 議案第32号および請願第8号については、委員会の審査結果を受け、継続審査とすることの賛否を問うものです。

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願

議案(請願)番号	議決結果	政策・市民の声					上尾同志会					共産党					公明党					彩の会			無会派						
		樋口敦	荒川昌祐	矢口豊人	海老原直矢	鈴木茂	浦和三郎	井上茂	田島純	原田嘉明	尾花瑛仁	新道龍一	田中一崇	深山孝	渡辺綱一	轟信一	新藤孝子	戸口佐一	池田達生	平田通子	井上智則	戸野部直乃	前島るり	長沢純	道下文男	小川文明	星野良行	大室尚	津田賢伯	佐藤恵理子	秋山かほる
議案第8号(修正部分を除く原案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第9号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第10号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第16号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第20号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第24号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第32号(注)	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第35号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第41号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第42号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	□
請願第7号	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第8号(注)	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第1号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第2号議案	原案否決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年度予算審査

議会の提言から新年度予算への反映



予算特別委員会の審査の流れは、昨年の決算特別委員会の提言に対する予算措置状況について説明を受けた後、部局別審査を行い、総括質疑、討論、採決を行います。

委員構成

◎深山孝、○浦和三郎、田島純、原田嘉明、津田賢伯、轟信一、小川明仁、井上智則、荒川昌佑、戸口佐一、渡辺綱一、戸野部直乃、平田通子、長沢純、井上茂 (◎が委員長、○が副委員長)

◆令和3年度予算に向けて議会が行った提言に対する市の対応(抜粋)◆

1 多様な財源の確保について

▶企業版ふるさと納税の活用、国・県支出金の可能な限りの活用

3 子どものための環境整備について

▶子どもの貧困対策計画の策定、ひとり親家庭・生活困窮者等学習支援事業における質の向上、学校教育に係るオンライン学習体制の構築

2 防災・緊急体制の整備について

▶避難所の増設、感染症対策物資の購入、道路損傷通報システムの運用開始、消防緊急通報指令システムの更新

4 市民が集う公園施設整備について

▶上尾市公園施設長寿命化計画および上尾市公園設備維持管理更新計画の策定

総括質疑後、委員から修正案が提出され全会一致で可決となり、修正部分を除く残りの原案については賛成多数により可決となりました。

修正案の概要

上平地区複合施設基本設計委託料については、上平地区複合施設検討委員会より付帯意見が付されており、十分な検討がなされたと言えないこと、コロナ禍の臨時財政運営方針下において、事業実施の必然性について、詳細な根拠が示されていないことなどから、当初予算案から当該委託料を減額するもの。

本会議での討論

修正案に対する討論

賛成

共産党▶ 付帯意見が付されていること、市民からコロナ禍での建設を慎重に進めるべきとの意見が出されていること、臨時財政運営方針は安全確保以外の工事や設備の先送りを決めたこと、建設計画は緊急の必要性もなく認められないことなどから賛成する。

無党派・津田▶ 行政側と市民との手続きの順番を前後させ予算に盛り込んだ点、検討委員会の答申も多くの付帯意見が付されていた点から、当初予算からは一旦外した上で、煮詰め直してから計上すべきと考えることから賛成する。

原案に対する討論

反対

共産党▶ 歳入は、マイナンバーカードに係る国からの補助金など、政府がデジタル化の名の下に社会保障の削減を進めようとしていることから反対する。歳出については、市民に緊急情報で有事をおおる、国民保護計画推進事業に反対する。

無党派・秋山▶ 当初予算は、一律に10%削減する方針で編成され、補助金などが削られている。市の単独事業の額が多くを占めており、特に、小・中学校体育館空調設備工事は、コロナ禍で検討し直さなければならぬと考えることから反対する。

賛成

政策・市民の声▶ 子育て関連施策をはじめとした各種事業が計上された点について評価する。特に、課題を抱える市民の支援につながる「子ども家庭総合支援センター」の設置や、図書館への電子書籍の導入など、コロナ禍で求められる行政の役割を果たすことに寄与すると考える。
公明党▶ コロナ禍の危機対応モードで編成された予算だが、公明党上尾市議団が市長に提出し

た要望事項やこれまで一般質問で要望してきたものが大きく反映され、市民にとって期待の持てる内容となっていることから賛成する。
無党派・津田▶ 本予算案は、国の方針に左右される地方の実態を表しているが、新型コロナウイルス感染症による財政の危機的状況に対応し、自粛だけでなく、地域経済を活性化させる施策を盛り込むなど、全体のバランスを取っており、高く評価する。

一般質問

? ここが問題 そこが聞きたい!

3月定例会の一般質問は、3月11・12・16・17・18日の5日間行われ、24人の議員が市政全般75項目にわたって市当局の見解を求めました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください(5月下旬公開)。

なお、本定例会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、傍聴については自粛をお願いし実施いたしました。

危険なバス停への対応は



星野良行 (彩の会)

問 県内657カ所のバス停が「危険なバス停」としてランク付けされている。最も危険なAランクは県内45カ所、市内では「原市団地北口バス停」が該当する。市では危険なバス停についてどのような認識しているか。

答 この調査は、国が実施したものである。市では現地調査などを実施するとともに、バス運行事業者や道路管理者である関係部署との情報共有を図っており、危険度などを踏まえた対応が必要だと認識している。

問 このバス停がAランクに指定された理由は何か。

答 バス停に停車した際に横断歩道に車体がかかることが理由である。

問 危険なバス停の解消に向け、国や市はどのような対応を考えているのか。

答 関東運輸局埼玉運輸支局では「埼玉県バス停留所安全性確保保合同検討会」を設置し、バス事業者、埼玉県警察本部、道路管理者などの関係機関と安全対策を協議していくことを確認している。市としては、今後の検討会の協議結果などを踏まえ、交通安全上の問題の解消に向けて、関係部署と連携を図りながら安全対策に努めている。

その他の質問

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策
- ・ アリコベール
- ・ 今後の幼児教育

学校給食の食品ロスを減らす努力を



深山 孝 (上尾同志会)

問 SDGsの目標に食料廃棄を半減させ、食品ロスを減少させることが挙げられている。学校給食の残菜は年間どのくらい発生しているのか。

答 学校給食において年間発生する残菜の量は、概数で平成29年度は小学校で15・6トン、中学校で38・5トン、計54・1トン、平成30年度は小学校17・4トン、中学校33・2トン、計50・7トン、平成31年度は小学校16・4トン、中学校31・1トン、計47・5トンである。

問 食品ロス削減のための対策はどのように行っているのか。

答 各学校では毎日、残菜量を把握し適正な配食や調理について検証を行っている。また、食べ残しがないような献立の工夫を図り、地場産の食材を活用している。その他、学級担任や栄養教諭などが行う食に関する指導において、食事の重要性を理解させたり、食物や生産者への感謝の気持ちを育てたりするなど、さまざまな取り組みを実施している。

問 他市では学校給食で生じる残菜などを生ごみ処理機などで堆肥化しているところがある。教育委員会では堆肥化についてどのような見解か。

答 導入に当たっては、衛生管理や設備費用、堆肥の供給先の確保などさまざまな課題があることから、難しいと考えている。

女性や子ども・若者の 総合相談窓口の設置と充実



前島 るり
(公明党
上尾市議団)

問 私は、平成24年9月議会から一貫して「女性や子ども・若者の総合相談窓口の設置」を要望してきた。そこで、このたび設置予定の「子ども家庭総合支援センター」について伺う。

答 子育て相談では、育児、家族関係、生活環境などの複合的な問題を解決する必要があることから、子育て世代の相談窓口を一本化することで、相談者の負担が軽減するとともに、職員の連携が図られ、スピーディーかつ効果的な支援が可能になると考えている。

問 夫婦間のDVは、子どもに大きな影響を与えることは周知の事

実である。DV相談者の多くが子どもがいる方だということに鑑み、今後はますます男女共同参画推進センターとの連携が必要と考えるが、市の見解は。

答 子育て相談の内容にはDVに起因するものも多く、現在の子ども・若者相談センターとDV相談の窓口である人権男女共同参画課と連携して支援を行っているところである。子ども家庭総合支援センター設置後においても、引き続き連携を行っていきたいと考えている。

その他の質問

- ・ 妊婦応援タクシー利用料金助成事業の延長と拡充
- ・ 教育支援
- ・ 公共施設への非接触型設備及びパネル設置による感染対策

災害を見据えた対策を



井上 智則
(公明党
上尾市議団)

問 避難行動要支援者名簿はどのように地区と共有し、活用しているのか。

答 受け取りを希望した自主防災会に渡している。また、令和2年度に導入した避難行動要支援者システムは、QRコードを読み込むことで避難行動要支援者の自宅の地図が表示されるので、市の防災訓練で活用する他、地元での防災訓練でも活用していただくことで、避難行動要支援者の把握に役立てることができると考えている。

問 新型コロナウイルスをはじめとした感染症に対応した避難所運営の課題は。

答 密になりやすい空間の中で、感染拡大防止策を徹底することが極めて重要な課題と考えている。市では指定避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを定め、十分な換気や避難者間のスペースの確保、避難所の衛生環境の確保などについて、避難所に携わる職員などへ周知している。

問 公共施設に無線LANを整備していく予定はあるのか。

答 公共施設への公衆無線LANの整備については、平常時のみならず、災害時においても有効活用できるよう、整備する施設を精査し、検討していく。

その他の質問

- ・ 市内事業者へのIC-T導入支援
- ・ 学校教育

コロナ禍で上平地区複合施設 建設を進めるのか



鈴木 茂
(政策・市民の声)

問 上平地区複合施設検討委員会の中で、子育て支援をしているNPO法人の理事の委員から「私たちにも10%の補助金カットが出されている」旨の発言があった。

答 子育てや老人福祉などの予算を削って、全く急ぐ必要がない建物の建設に予算をつけることに市民の理解が得られると思うのか。市長の考えを伺う。

答 市の財政は大変厳しい状況にあり、補助金の削減など、市民の皆様には負担をかけることは大変心苦しく思っている。

そのため上平地区複合施設についても、将来の財政負担をできる

限り抑制するとともに、市民の皆様の意見を取り入れながら、計画の見直しを行って行くものである。

問 「令和3年度予算のポイント」の中のコロナ禍の臨時財政運営方針、「コロナ禍による市税収入の減などを契機として、次の5つの視点に基づいて事業を見直し、危機対応モードの財政運営を実施」とあり、その4番目に、「市民の安全確保等以外の工事や設備整備の先送り」とある。

答 この方針と上平地区複合施設の基本設計委託料を予算計上することは矛盾していないのか。

答 上平地区複合施設の建設工事については、社会情勢や財政的な状況を考慮し、慎重に進めていく。

医療的ケア児の
保護者負担軽減に向けて



戸野部直乃
(公明党
上尾市議員)

問 医療的ケア児を育てる多くの家族は、通園、通学時の送迎や付き添いを求められるケースが多く、負担が大変大きい。医療的ケア児が、通年かつ長期にわたる通園、通学目的で利用できる障がい福祉サービスはあるか。
答 生活サポート事業が挙げられるが、1年間で150時間までの利用上限が設けられている。また、移動支援事業については、原則として通園・通学目的での利用はできないが、家族の病気などにより一時的に送迎時の支援が必要と認められる場合には利用することができる。

その他の質問

- ・ 今後の上尾市幼児教育の展望
- ・ 上尾駅西側の西宮下方面へ向かう線路沿いの道路
- ・ 不登校児童生徒が学びに向かうための環境整備

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現へ



樋口 敦
(政策・市民の声)

問 令和2年は全国自殺者数が11年ぶりに増加した。コロナ前後で比較した場合、本市の状況はどうか。
答 厚生労働省の統計によると、これまで発表されている段階では、本市における自殺者数に増加傾向は見られていない。
問 自殺対策のけん引役として期待される本市の「自殺対策計画」はどうなっているか。
答 平成31年3月に策定している。その中で「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」ことを基本理念とし、自殺対策に関する施策を全庁的に推進している。

その他の質問

- ・ 学校教育
- ・ 企業誘致の推進
- ・ eスポーツ

原市分署の耐震化と
建て替えの計画は



渡辺綱一
(上尾同志会)

問 原市分署の庁舎耐震化の実施状況は。
答 令和元年度に実施した耐震診断の結果、消防庁舎の一部に耐震性を満たしていない箇所があったことから、令和2年度に耐震補強設計を実施した。
問 今後の計画は。
答 令和2年度に実施した耐震補強設計を基に耐震補強工事を実施する計画である。また、建物の老朽化に伴い雨漏りが頻繁に発生していることから、屋上部分の防水工事も併せて実施する計画である。
問 外壁周りの塗装の塗り替え、給排水設備の改修は考えているか。
答 現在、協議を進めている伊奈町との消防

その他の質問

- ・ コロナ禍の影響による市税の見込みと財政運営
- ・ 上尾・伊奈広域ごみ処理施設
- ・ 都市計画道路上尾伊奈線の整備
- ・ 県道さいたま菖蒲線と市道1025、1026号線が交差する平塚北交差点の改良

風しん抗体検査・予防接種が進む取り組み



新道龍一
(上尾同志会)

問 風しん抗体検査の受診者数が低いようだが結果は。

答 追加的対策の初年度である平成31年度に、対象者約1万3000人にクーポン券を送付し、1876人が受検した。令和2年度は、対象者約1万7000人に送付し、12月実施分までで2884人が受検している。

問 抗体検査が進まない要因は。

答 対象者が40代、50代の男性で、働いている世代であることが要因の一つであると考えている。

問 風しんの追加的対策は令和3年度までとなっている。ワクチン接種が進むよう、令和

3年度の市の取り組みについて伺う。

答 令和3年度当初には、令和2年度にクーポン券を送付した人のうち、まだ受検していない人に対し、再度クーポン券を送付し、受検を勧奨する。さらに、令和3年度秋をめどに、全対象者のうち未受検の人に対し、個別通知による勧奨を行う予定である。

問 新型コロナウイルススワクチンの本格的接種時期と重なる場合の対象者への接種間隔の注意喚起は。

答 通知の際、新型コロナウイルススワクチン接種とは2週間の間隔を空ける必要があることも併せて案内したいと考えている。

その他の質問

第六次上尾市総合計画基本構想(案)

上尾初の国重要有形民俗文化財で市のPRを



浦和 三郎
(政策・市民の声)

問 昭和50年代から市教育委員会が収集を進めてきた畑作や稲作の一連の作業に使用された摘田・畑作用具が国重要有形民俗文化財に指定された。これを市としてどのように有効活用するのか。

答 上尾の摘田・畑作用具保存活用検討委員会にて保存活用に関する計画を作成する他、保存環境の整備に関する事項などについて調査、審議していく予定であり、その内容を踏まえて進める。

問 丸山公園周辺の休耕田を借りて摘田方式で米を栽培し、その米で上尾の名産物を作ることが可能と考える。また、自然学習館に喫

茶店を作り、摘田に係するメニューも用意できる。この文化財を活用する戦術は。

答 保存活用検討委員会での計画を基に具体的な活用を図るが、市民ギャラリーなどを会場とした特別展の開催を予定している他、上尾文化遺産ガイドの活用など、この文化財を多くの市民へ公開していく取り組みを進め



国の重要有形民俗文化財に指定された「上尾の摘田・畑作用具」

その他の質問

道路改善
大谷北部第二区画整理事業

小中学校の学校給食に有機農産物の導入を



海老原直矢
(政策・市民の声)

問 学校給食に有機農産物の導入を進めるべきと考えるが見解は。

答 学校給食への有機農産物の活用は、持続可能な開発目標の達成に貢献し、地産地消や食育の推進にも寄与するものと認識している。しかし、農産物の安定的な需要体制の確保や価格などの課題があり、現段階では容易ではないと考える。

問 市として方向性を定めるべきであると考えるが見解は。

答 国が方針を策定し、有機農業の取り組み拡大を推進するとともに食育などとの連携も示していることから、国や他自治体の動きを注視していく。

問 モデル校を定めて部分的な導入を行ったり、特定の日に実施したりするなど、実験的な導入を行うことで課題を整理すべきであると考えているが見解は。

答 実験的な実施については、一定量の農産物が必要であり、安定した供給量と価格などが課題となることから、どのように取り組めるか研究していく。

問 市長の見解は。

答 有機農産物の学校給食での導入は、地域の魅力を高めることにつながると考える。一方で課題もあることから、今後、埼玉県学校給食会やJ・Aなどと連携を深め、調査研究していく必要がある。

その他の質問

多様性推進施策
自然環境・生活環境
民間との連携

スマートモビリティと 自転車の通行の安全



津田賢伯
(無会派)

問 小田急電鉄が実証実験を行っているデマンドバスは従来の問題点である予約や配車のコストをICTにより解消している。市はデマンドバスについて検討したことはあるか。

答 デマンドバスを含めたデマンド交通に関して、これまで導入自治体への視察や上尾地域域公共交通活性化協議会において協議を行ってきた。本市におけるバス路線網は、地域の大半をカバーしており、民間バス事業者などとの共存を踏まえ、慎重に調査研究を重ねる必要がある。

問 自転車駐輪場の空き情報は、ネットワークを介して集約できる

と考えるが、情報を集約する仕組みづくりは可能か。

答 空き情報などの周知については、既に実施している民間駐輪場もある。多様な管理形態から、市が全ての情報を管理し、周知を図ることは難しい。

問 道路幅員の狭い道路で、自転車レーンを用意せず通行している自動車を多く見かける。ドライバーに対しての注意喚起や自転車への啓発活動は。

答 小学生を対象にした交通安全教室では、自転車レーンの利用を含む自転車のルールやマナーをカリキュラムの一つとした。全国交通安全運動などの機会を通じ、交通安全啓発に取り組む。

・ 保育
その他の質問

コロナ禍における行政経営



道下文男
(公明党
上尾市議員)

問 市の財政状況を分析して、課題をどう捉えているか。

答 全国平均を上回るペースで進行する高齢化や労働人口の減少などの社会構造の変化により、財政負担が年々増加しており、本市の財政運営は、大変厳しい状況となっている。

問 コロナ禍において、市税減収とともに扶助費の増大がさらに見込まれているが、課題に対してどう対応していくのか。

答 これまでの財政運営を前提とするのではなく、状況に応じた危機対応モードの財政運営を行うことが必要と考えている。さらに、収支ギャップを埋める

ための行財政改革を行う必要がある。令和3年度から新たにスタートする上尾市行政改革プランに基づき、それぞれの部署が経営という視点に立ち、歳入と歳出両面から改革を進めなければならぬと考えている。

問 前回の第8次行政改革実施計画の達成度と今後の方向性について伺う。

答 平成28年度から平成31年度までの4年間、全ての項目の効果額を積み上げると約19億円となった。この5年間で結論に至らなかった項目や今後も推進していくべき項目については、引き続き上尾市行政改革プランに掲げ目標達成に向けてさらに努力していく。

・ 市長の政治姿勢
その他の質問

外国人市民が 住みやすい上尾市に



戸口佐一
(日本共産党
上尾市議員)

問 本市の外国人市民の人数、割合は。

答 令和2年6月1日時点で3838人、割合は1・7%となっている。令和元年は3566人である。

問 本市は前年比で272人増加している。本市の多文化共生における事業はどのように行われているか。

答 主な取り組みとして、外国人のための相談窓口「ハローコーナー」の設置や、日常生活に関する情報を4言語で翻訳した外国人市民向けの情報誌「ハローコーナーニュース」を月1回発行し、公共施設に配置している他、希望者には郵送も行っている。

問 コロナ禍で、外国人市民も戸惑っていると思うが、主によいような相談が寄せられているか。

答 ハローコーナーでは、市から届く通知などの内容確認に関する相談が最も多い。

問 今後も外国人市民が増えていくと考えられる。多文化共生を進めるに当たり、市長の見解を伺う。

答 外国人市民は今後も増加していくことが予想される。各地域での多文化共生を進めていくことが、市全体に利益をもたらすものと考えている。誰もが住みよい街づくりを進めるためにも、多文化共生を推進していく。

・ 街づくりの課題
・ 上平地区複合施設は慎重な検討を
その他の質問

安心して利用できる
介護保険制度を



新藤 孝子
(日本共産党
上尾市議団)

付費等準備基金8億円を取り崩し、356円の上昇抑制を図り、5603円となった。

問 65歳以上の介護保険被保険者の介護保険料滞納者数と介護サービス

の給付制限を受けている人数は。

答 滞納者数は、平成30年度987人、平成31年度1329人、令和2年度は2月末現在1271人である。給付制限を受けている人数は、平成30年度12人、平成31年度18人、令和2年度は2月末現在29人である。

問 第8期計画期間の介護保険料基準額の算定根拠は。

答 計画期間中の保険料負担額の合計約136億円を第1号被保険者延べ人数約19万人で割ると、月5959円となるが、介護保険給

必要な人が受けられる
生活保護制度に



轟 信一
(日本共産党
上尾市議団)

問 基金全額を取り崩さなかった理由は。

答 新型コロナウイルス感染拡大による不測の事態に備えるためである。

問 保険料の所得段階を11段階から増やし、負担能力に応じた設定を行わなかったのか。

答 15段階への変更に

ついて試算したところ、保険料基準額を51円引き下げられることが分かった。しかし、51円引き下げると、1309人の市民の介護保険料を年額平均2万8402円引き上げなければならぬことから、見送った。

その他の質問

- ・ コロナ禍で生活困窮する方へ支援を
- ・ ワクチン接種

市の入札と契約について



池田 達生
(日本共産党
上尾市議団)

問 昨年10月に790件もの不適切な随意契約があったことを市は公表した。昨年12月定例会で、問題ある事案は上尾市職員懲戒審査委員会に対応するとしていたが、どのような結論となったか。

答 昨年12月に委員会を開催し、職員27人に文書による厳重注意、55人に口頭による厳重注意を実施した。

問 戸崎公園パークゴルフ場のフェンス設置工事は、5分割して随意契約で行われた。その5つの契約の中に、特定の業者が全てに入っており、受注をした。なぜ、その業者だけが全ての契約に入っているのか。

答 少額随意契約の業者選定では、現場の事情に精通している業者を選定していることから、関連業務を受注した業者を入れている。

問 特定の業者に分割して発注したのは、官製談合や独占禁止法に抵触する可能性があると考えますが、市は再調査するのか。

答 戸崎公園パークゴルフ場のオーブンに間に合わせるために分割し、随意契約として発注したものである。また、見積徴取の方法についても聴き取りしていることから、現段階ではさらに調査する考えはない。

その他の質問

- ・ 市民の声が反映しやすい市政を
- ・ 生涯教育と公民館、地域公民館の役割
- ・ 公園の現状と課題

学校は地域の宝、
統廃合計画は見直しを



平田 通子
(日本共産党
上尾市議員)

問 学校施設更新計画の目的と概要は。

答 学校施設の老朽化が進み、今後、一斉に更新時期を迎える。また、今後の財政状況は厳しさを増すことが予想される。このような状況を踏まえ、児童生徒の減少や新たな教育への対応を目的に、計画的な施設配置などの推進を図るための今後35年間の計画である。

問 「新しい学校づくり検討エリア」は、地域ごとに検討委員会を立ち上げると聞いている。構成員や募集方法、検討期間の予定は。

答 学校長、PTA、自治会などにメンバー選出をお願いする予定である。また、地域の

方からも公募することを想定している。期間は4年間を目安に進めていく予定である。

問 学校施設更新計画案への市民意見は、少人数学級、通学路の安全、防災拠点についてなどの意見が多かった。統廃合は経費の削減ではなく、児童生徒の教育条件をよくする目的で行うべきである。統廃合計画はいったん撤回し、慎重に進めることを求めるが、教育長の見解は。

答 教育振興基本計画と連携を図りながら、教育環境の充実と学校施設マネジメントの両面から地域、学校関係者と検討していく。

その他の質問

・ 多様性・ジェンダーと、女性支援の強化を

・ 新年度予算

ごみの分別方法変更で
混乱を招かぬように対応を



佐藤 恵理子
(無党派)

問 昨年10月に起きた西貝塚環境センターコンベヤ火災の影響もあり、7月から新たな分別方法による収集を実施することだが、既存の分別方法との具体的な変更点は。

答 火災の原因となり得るリチウム電池などの2次電池が含まれる小型家電について、これまででは電池を取り外して「金属・陶器」の日に集積所に出してもらうこととしていたが、7月からは、小型家電を別区分とし収集を行う方向で、収集日や回収方法について検討を進めている。

問 分別方法を変えると、混乱する人が増えるのではないかと推察

する。新たな「ごみ処理力レンダー」とともに、昨年の12月定例会の一般質問で要望した「ごみ分別辞典」は配布しないのか。

答 基本的なごみの出し方については、「ごみ処理力レンダー」に掲載し、「ごみ分別辞典」については、現在、ごみ分別アプリや西貝塚環境センターのホームページで公開をしている。

なお、インターネットなどの利用ができない方もいることから、「ごみ分別辞典」を市役所や支所などで配布できるように7月をめどに準備していく。

その他の質問

・ 子どもたちが過剰しやすい学校環境へ

・ 丸山公園

・ NHKの住民票の取得

公民連携による
にぎわいの創出を



荒川 昌佑
(政策・市民の声)

問 本市は、令和2年1月から12月の社会増が県内3位である。今だからこそ上尾の魅力

を発信し、認知度を上げなくてはならないと考える。本市のにぎわいの最大の武器であるJR上尾駅周辺について、大型店の出店などで買物も分散化が進み、駅前が衰退が懸念される。今後の駅周辺のにぎわいはどのよう

に創出していくのか。

答 都市計画マスタープランでは、上尾駅周辺を行政、商業、業務、医療などを代表する都市機能が集積された中心的な拠点として位置付けており、「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」を目指す

上で、駅周辺のにぎわいを創出することは大変重要と認識している。こうした拠点機能を高めるためにも、本市の「顔」にふさわしい魅力的な街並みの形成を推進するとともに、駅周辺の回遊性を高め、多世代が行き交う「にぎわいの場」を創出していきたい。

問 20年、30年後も上尾駅が市の顔、にぎわいのある場として存続するためには、市が音頭をとり協議する組織を設置する必要があると考えるが、見解は。

答 まちづくりを進める上で中心市街地の存続は重要であり、将来に向け関係機関などと協議を行うことの必要性は認識している。

その他の質問

・ 道路行政
・ 鴨川

全庁的な協議で学童の充実を



井上 茂
(政策・市民の声)

問 学童保育所の問題は、これまで子ども未来部が主になって個別に対応してきたが解決には至らなかった。しかし、今回関係部署の部長、次長、課長をメンバーとする検討委員会の設置により、多くの課題、問題を共有しながら意見交換が展開され、長年の懸案であった東町学童保育所の移転方策について最終的な結論を見いだすことができた。

東町学童保育所を除いて、まだ学校敷地内に移転されていない、借地の公設学童保育所は何力所あるか。

答 大谷・平方西・平方・上平北・大石第三・東小第二学童保育所の

6力所である。

問 市が以前策定した「学童保育所設置に関する基本方針」では、新設または移設の必要が生じた場合は学校に設置するとしているが、その方針が変わりはないか。

答 変わりはない。

問 教育長は、予算特別委員会において、「敷地内への移転は児童の安全確保につながる」「惜しまずに協力していきたい」と述べていた。もう一度見解を伺う。

答 学校施設は、教育財産であるとともに公有財産でもある。学校の現況や児童数の将来予測を踏まえながら、惜しまずに協力していきたい。

その他の質問

- ・ 水害対策
- ・ 契約

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種について



矢口豊人
(政策・市民の声)

問 市内の65歳以上の高齢者は約6万5000人だが、どのような優先順位をつけて接種するのか。

答 対象者に優先順位をつけることは予定していない。

問 接種時期はまだ明確に公表できないと思うが、しかるべきタイミングで示してほしい。では、接種会場の人員体制はどのようなになっているか。

答 集団接種会場においては、医師は予診を担当し、注射や経過観察は看護師が行う。薬液充填準備を行う薬剤師も配置予定である。

問 副反応を心配する方も多い。十分な医療体制整備をお願いす

る。では、一般の方も含め、全体の接種完了は、どのような見通しがあるか。

答 厚生労働大臣からの指示によると、令和4年2月28日までとなっている。

問 長丁場のワクチン接種事業は、国や県との調整が重要である。県の保健医療部長として手腕を発揮されてきた副市長の意気込みは。

答 不確定な部分が多い状況ではあるが、正確な情報を把握し、接種を希望する市民が速やかに、安心してワクチン接種を受けることができるよう、しっかりと取り組んでいく。

その他の質問

- ・ 難病者支援と選択登校制
- ・ 障害者福祉とエスカレーター利用

コロナ禍における自治会活動 地域社会について



田島 純
(上尾同志会)

問 補正予算計上の自治会支援金支給事業の詳細について伺う。

答 自治会への支援策として、加入世帯数を基準に5万円から20万円を支給する。繰越明許費として、令和2年度および3年度の2年間にわたって新型コロナウイルス感染症防止対策に有効な物品の購入に充当できる。

問 地域社会や自治会活動への参画は人によつては不安や負担を感じることもあるかもしれないが、自治会の役員や活動を通して充実感や安心感、感謝の気持ちを実感することができると言える人が増えれば、ひいては自治会活動の充実につながっていくことでもある。行政側で把握している自治会活動の課題や、自治会と行政との連携をどのように考えているか。

答 自治会は、昨今は加入者の減少や担い手不足などが大きな課題だが、昨年からコロナ禍の影響により自治会活動を取り巻く環境は大変厳しいものと推察している。自治会との緊密な連携を図り、地域防災をはじめ、自治会の持つ役割の重要性やその魅力などを広く市民に発信するとともに、自治会が抱える課題を共有し、必要となる支援をしっかりと行っていきたい。

その他の質問

- ・ 第6次上尾市総合計画基本構想(案)
- ・ テレワーク、電子決裁導入に向けた上尾市の取り組み

平方幼稚園の廃止は
総括してから決定を



秋山かほる
(無党派)

問 市内で唯一の公立幼稚園である平方幼稚園を来年度廃止する条例案が出されている。

平方幼稚園には、幼児教育の長い実践があり、県の委嘱を受けた事業なども実践してきました。これらの幼児教育の実践をしっかりと総括してからどうするかを決めるべきである。それからでも廃止は遅くないと考える。

平方幼稚園で実践されてきた幼児教育の具体的な取り組みはどのようなものがあるのか伺う。

答 平方幼稚園では、平方小学校と隣接していることを生かし、平成18・19年度に埼玉県教育委員会から「幼

園・保育所と小学校の連携推進事業」の研究指定を受け、また平成24年度に埼玉県の「親支援モデル施設育成事業」の委託を受け、それぞれ研究発表を行っている。さらに、園内研究として、平成30年度には「健康な心と体を育てる環境や活動の工夫」、令和元年度は「幼児が充実感を味わうための戸外遊びの環境や活動の工夫」、令和2年度は「協同性を育む保育の在り方」を研究してきた。なお、平方幼稚園の実践と教育の総括については、令和3年度にまとめていく予定である。

その他の質問

- ・市の随意契約と入札
- ・市内コロナ感染者の現状
- ・市の将来を見据えた予算編成

全員協議会

2月3日、8日、25日に、「指名競争入札」について全員協議会を開催しました。これは、昨年12月に開催した全員協議会において、執行部に要求した資料の説明を求め、また、執行部の調査の報告を受けるため、議会からの要望により、開催されたものです。

会議では、執行部から資料に基づく説明を受けた後、議員から「入札参加資格者名簿への登載時の審査方法」、「名簿登載時の営業所の実態把握」、「今後の適正な契約手続きのための仕組みづくり」などに関する質疑応答・意見などが交わされました。なお、3月23日の本会議において、「適正な指名業者の選定を求める決議」が提出され、全会一致で可決されました。

【決議の概要】

市が令和2年11月19日に契約を締結した「太平中学校他2校屋上一部防水改修工事」は、指名競争入札に付されたものであるが、同入札の指名業者の選定に当たり、準市内業者を指名していた。これは、上尾市指名業者選定要綱第3条に定める市内業者から選定するとした規定に則していないものである。

また、市は、同入札で落札した準市内業者について、「競争入札参加者に係る市内事業者の認定について」に記載されている市内営業所等事業者の営業実態を確認しないまま契約を締結したものである。

よって、適正な指名業者の選定を図るため、下記の措置を講ずるよう求める。

- 1 「競争入札参加者に係る市内事業者の認定について」を要綱等に定めること。
- 2 準市内業者の営業実態を把握するため、具体的な書類の添付を定めるなど、上記要綱等に基づく調査の充実・強化を図ること。
- 3 指名競争入札の運用を確実にするため、職員に対し研修を実施すること。

告発に係る処分通知

令和元年12月24日の本会議において可決した小敷谷地内フェンスブロック擁壁撤去・新設工事に係る告発について、令和3年3月29日付けでさいたま地方検察庁から不起訴とする処分通知がありました。

人事案件に同意

■ 公平委員会委員に福地輝久氏

公平委員会委員・福地輝久氏の任期が令和3年3月31日で満了となるため、同氏を再び選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■ 教育委員会委員に谷島大氏

教育委員会委員・細野宏道氏の任期が令和3年3月31日で満了となるため、後任として谷島大氏を任命することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■ 政治倫理審査会委員に三角元子氏、関根貴生氏、船川喜正氏、関篤氏、渡辺英人氏

上尾市長等政治倫理条例の施行に伴い、政治倫理審査会委員として三角元子氏、関根貴生氏、船川喜正氏、関篤氏、渡辺英人氏を委嘱することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

6月定例会会期予定表

6月8日 開会
 11日 質疑、委員会付託
 14日 委員会
 (総務、都市整備消防)
 15日 委員会
 (文教経済、健康福祉)
 17・18日、21～24日
 一般質問
 28日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動 R3.1.16～R3.4.15



▲総務常任委員会の審査



▲文教経済常任委員会の審査

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	3/5	・3月定例会提出議案10件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	3/8	・3月定例会提出議案7件、請願1件を審査
都市整備消防常任委員会	3/5 4/14	・3月定例会提出議案13件を審査 ・所管事務調査「消防広域化について」
健康福祉常任委員会	3/8 4/9	・3月定例会提出議案15件、請願1件を審査 ・所管事務調査「新型コロナウイルスワクチン接種について」
議会運営委員会	2/2～ 4/12	・議会運営について協議（協議回数14回）
予算特別委員会	2/25 2/26 3/1 3/2 3/3 3/9	・正副委員長の互選 ・決算特別委員会の提言確認、部局別審査（総務関係） ・部局別審査（総務・健康福祉関係） ・部局別審査（健康福祉・文教経済関係） ・部局別審査（都市整備消防・文教経済関係） ・総括質疑、討論、採決
議会報編集委員会	1/19 3/23	・「あげお議会だよりNo.197」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo.198」の内容について協議

*** 6月定例会は、6月8日(火)に開会予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、6月2日(水)までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継（ライブおよび録画）を行っております。

詳しくは、議会事務局（☎775-9467）へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 矢口 豊人
- 副委員長 戸口 佐一
- 委員 田島 純
- 委員 轟 信一
- 委員 井上 智則
- 委員 樋口 敦
- 委員 星野 良行
- 委員 戸野部直乃

議員研修会を開催

2月1日、明治大学公共政策大学院の兼村高文教授^{かねむら たかふみ}を講師に迎え、「自治体の予算審議・決算審査のポイント」と題して、議員研修会を開催しました。

本市の財務資料による財政分析や他の自治体における具体的な事例を通して予算審議のヒントなどを学び、令和3年度予算の審議を前に、大変参考になる内容でした。



▲研修会の様子